

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 フェニックス・ニューブリッド	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.500	△RG 0.054	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **5 1/4** インチ

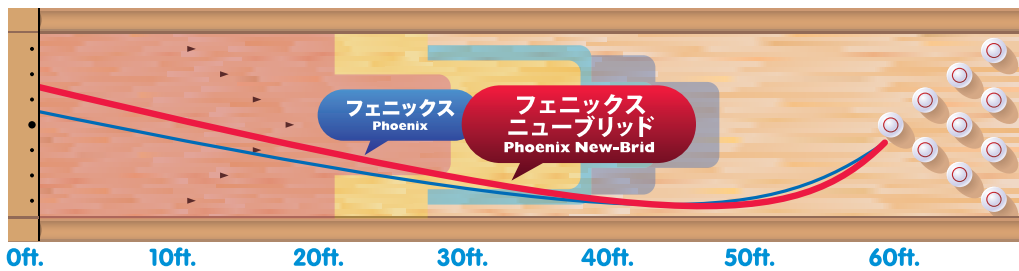
表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

比較対照ボール：フェニックス

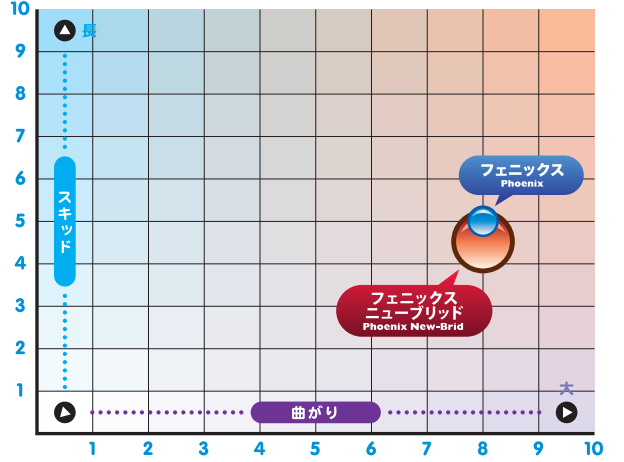
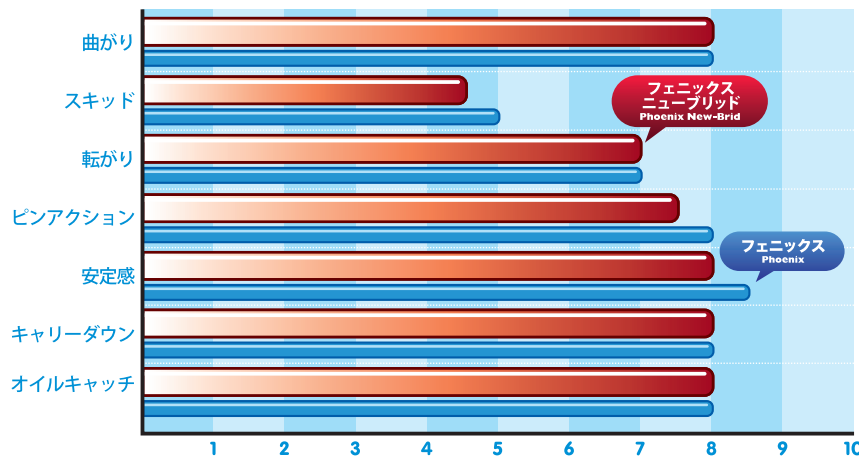
フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **5 1/4** インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- パフ



レーンコンディション	バックエンドリアクション	レンジス
Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil	Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle	Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

ボールの評価

サンアントニオ工場の最終版としてフェニックスが発売され、今尚そのニーズは絶えません。しかし初代フェニックスは生産ストップまでの出来る限りの時間で作られたため、その個数はわずかなものでした。ABS テスターはその事態を発売前から予想し、フェニックス発売以前から米国エボナイト社とフェニックスと同等かそれ以上の開発に携わってきました。そしてフェニックス・ニューブリッドとして今回リリース致します。投球した**イメージは手前からの強いキャッチ力を感じ、リアクションイメージはストロングアーク状にバックエンドでのフリップ感を感じます。**フェニックスとの投げ比べは、手前のキャッチ力はニューブリッドのほうが強く、バックエンドリアクションもニューブリッドのほうがメリハリを感じます。**手前のキャッチ力を強めてもバックエンドでメリハリのあるフリップ感を得られるのがフェニックス・ニューブリッドの特徴で、エネルギーをロスすることなくバックエンドエリアまでパワーを温存できるコアとカバーストックのコラボレーションが冴える出来です。**フェニックスの代わりに使用するならば箱出しのまま、バックエンドのフリップ感を強めたいならばコンパウンドでフィニッシュ。手前からの動きを強調させたい場合にはアブラロンパッドでお気に入りの番手に仕上げるのも良いでしょう。フェニックスの注文が間に合わず、お手元にない方はこのフェニックス・ニューブリッドを代わりにお使いください。

特記事項

米国エボナイトによるトラックブランドの第一弾はフェニックス・ニューブリッド。カバーストックのキャッチ力とコアの強さのバランスが良く、軌道が読みやすい仕上がります。